



さい帯血バンク NOW

2008年5月15日発行
日本さい帯血バンクネットワーク
発行者：中林正雄（会長）
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社東館6階
TEL 03-5777-2429 FAX 03-5777-2417 <http://www.j-cord.gr.jp/>

第41号

新役員体制がスタート

10周年記念事業と将来像検討も

日本さい帯血バンクネットワークは本年3月27日に総会を開催し、新年度の事業計画案と予算案等を審議しました。また、ネットワークの役員と委員の任期は会則で2年となっていますが、役員は連続して2期までと定められています。このため、会長以下ほとんどの役員が就任4年であるため、新たな役員を選出して新体制がスタートすることになりました。総会で選出した役員は、会長に中林正雄氏（愛育病院院長）、副会長に加藤俊一氏（東海大学さい帯血バンク）と原宏氏（兵庫さい帯血バンク）と陽田秀夫氏（福島県骨髄バンク推進連絡協議会）の3名、

監事には野村正満氏（全国骨髄バンク推進連絡協議会）と樋口一夫氏（弁護士）の2名です。4月からは中林会長の新役員体制がスタートしました。鎌田薫前会長（早稲田大学教授）は4年間ご苦労さまでした。さらに、事業運営委員、事業評価委員、倫理委員も任期満了のため新たに委員の選出を行いました。

新委員による最初の事業運営委員会が4月12日に開催され、互選により原宏委員長が選任されました。また、総会では新たな事業として、来年は発足10周年を迎えるため、記念事業の立案準備を行うことや、今後のさい帯血バンク事業の検討を行う委員会を組織することなどが決議されました。

課題解決を積極的に 会長 中林正雄

日本さい帯血バンクネットワークが設立されて、来年は10周年を迎えます。その間に初期的段階にあったさい帯血

移植体制は多くの皆さまのご努力により着実に進展し、造血幹細胞移植医療における本会の意義と役割の重要性が医学的にも社会的にも認められるようになりました。

今後はさい帯血の一層の品質向上と安全性の確保、そして安定的なさい帯血供給体制の確立が望まれます。そのためには、事業体としてのあり方、診療報酬上の改善を含めた財政面の対応など解決すべき問題が残されています。一方、社会のニーズ、利用者の利便性を考えれば、骨髄移植、末梢血移植、さい帯血移植などの造血幹細胞移植医療は、事業体としてそれぞれの特性を生かしつつ、将来的には広い意味で一体化された体制が望ましいのではないかと思います。

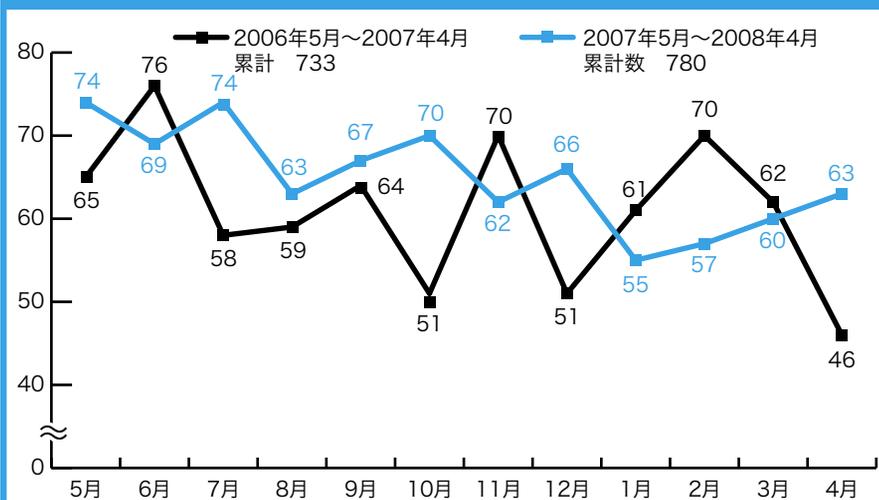
日本さい帯血バンクネットワークの新体制は、幅広い専門分野からの多様な人材で構成されております。新体制全員の力を結集して、これらの課題に積極的に取り組んでいく所存です。ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。



会長 中林正雄 副会長 加藤俊一 副会長 原宏 副会長 陽田秀夫 監事 野村正満 監事 樋口一夫

非血縁間さい帯血移植状況(2008年4月30日現在の速報値)

移植数(累計) **4485** 公開数 **29391**





今年は 名古屋で全国大会を開催

日本さい帯血バンクネットワークでは、年次報告会を兼ねた全国大会を毎年開催していますが、今年は9月20日(土)午後1時半から「2008年名古屋発、さい帯血バンク推進全国大会」と題して、名古屋市の名鉄ニューグランドホテルで開催します。

毎年、秋の恒例行事となりました全国大会ですが、今年は東海臍帯血バンクの協力により、名古屋で開催することになりました。このさい帯血バンク推進全国大会は、さい帯血バンクに関連した様々な事柄を広く市民に知っていただくことを目的にしていますが、さい帯血バンク事業を行う全国11のさい帯血バンク関係者が一堂に会するほか、国(厚生労働省)や日本赤十字社、骨髄バンク関係団体をお招きして、これまでの事業報告などを行います。また、今年は東京臍帯血バンク、日赤東京臍帯血バンク、神奈川臍帯血バンクの3バンクから、独自の取り組みの報告とアピールがあります。

●さい帯血移植の可能性

特別講演として「さい帯血が秘めている不思議なパワーの将来」などについての報告も予定しています。現在、内容についての検討と準備を進めています。

●いのちのきずな

さらにシンポジウム『いのちのきずな』をテーマに、パネルディスカッション

を予定しています。さい帯血移植で社会復帰した患者さんやさい帯血提供者、移植医、さい帯血バンクのスタッフ、さい帯血採取病院の採取担当者たちとともに、さい帯血が結ぶ「いのち

のきずな」について語り合っただけこうと思います。このシンポジウムに参加してお話をいただけるパネリストを募集しています。別記の要領でふるってご応募ください。

「いのちのきずな」パネリスト募集

今年9月20日に名古屋の全国大会におけるシンポジウムのパネリストを募集します。

- さい帯血移植を受けられて元気になられた元患者さん
- さい帯血を提供したドナーさん
- 移植関連のボランティア活動をしている方

さい帯血移植への思い・感想など皆さんとディスカッションしていただきます。ご応募お待ちしております!

【応募方法】

- さい帯血バンクやさい帯血移植に関する感想などを400字程度にまとめてメールにてお送りください。(郵送も可)
送付先メールアドレス:nenjihoukokukai@j-cord.gr.jp
- 締め切り:平成20年8月10日到着分まで
- 選考の上、若干名の方に当日会場にお越しいただきます。
- 交通費等については、当ネットワークで負担いたします。

【送付先・お問い合わせ】

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-3日本赤十字社本社ビル東館6階
日本さい帯血バンクネットワーク事務局
電話:03-5777-2429 FAX:03-5777-2417



すこやかに、幸せに。
明日への夢、描きたい。

NIPRO

人から人へ、心から心へ、医療という名のヒューマンなコミュニケーションを広げたい。真の健康を守り、幸福な社会を築くために、優れた医療器具を広くおとどけしているニプロ。

私たちニプロはさい帯血を採取保存する技術でさい帯血バンクを応援致します。

NIPRO

ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号



新連載

私とさい帯血移植「医師として患者として」

第1回◎年に3回の誕生日

田結庄 彩知 (たいのしょう さち)

1977年神戸市生まれ。2002年、香川大学医学部卒業後、国家公務員共済組合虎の門病院内科にて研修。2004年、重症再生不良性貧血と診断。免疫抑制療法施行も効果なく8月にさい帯血ミニ移植を受ける。2005年、虎の門病院を退職し東京医科大学大学院に進学。2007年6月、晩期生着不全で再入院。7月、2度目のさい帯血ミニ移植を受け、8月に退院し今に至る。

私の首に揺れるネックレスは父からのプレゼント。3種類、それぞれ違う誕生石の入ったベビーリングが3つ繋がっている。そう、私には誕生日が3回あって、お母さんは3人いる。

2007年7月2日、2度目のさい帯血移植の日、主治医の手の中にはさい帯血が入ったわずか40ccの注射器があった。この中に、会うことのない3人目のお母さんと赤ちゃんから頂いた生命が詰まっている。私のところに来てくれて、ありがとうと、私をこの世に産んでくれた母と2人で、無菌室で手を合わせた。もう一度、生きて家に帰りたい、そう思うと同時に、今までの様々なことが頭をめぐった。

■発病

2004年4月、私は虎の門病院の内科研修医だった。医者になって3年目、少しずつ経験も増え、毎日は忙しかったのだが、とても充実していた。ある日、軽い風邪をひいた後、異常な体のだるさと微熱が続く。自分に何が起きているのか、とても不安だが、それでいて、ただの過労だろうと思っていた。空いている時間を見つけて、血液検査を受けた自分に下された病名は

「再生不良性貧血」。血液の難病で、内科の教科書に「予後不良」と書いてあったことを思い出した。その日から人生の全てが一変する。病棟の鏡に映る姿は、自分ではないと思った。青白い顔でパジャマを着て、点滴の管が繋がっている。白衣を着て走り回っていた昨日までの私は、もうどこにもいなかった。長い闘病生活の始まりだった。2004年8月5日、病状の悪化にともない、救命のためさい帯血移植を受ける。この日が2度目の誕生日だ。もう少し、ほんのちょっとだけでもこの世界に生きていたい、心からそう思った。そしてその2人目のお母さんは私の命を救い、絶望の淵から生きるチャンスくれた。様々な合併症をのり越えて退院し、婚約者の待つ家に帰るタクシーの中から見た青い空は、どこまでも澄んでいるように思えた。それから2年10カ月、とっても幸せに暮らしてきた。

■不安

2007年6月14日、朝起きると何となく右目が重い。慌てて鏡を見て驚いた。瞼が真っ青になり腫れていて、まるで殴られたボクサーのようだった。とても嫌な予感がし、たまらない不安を抱えて外来に行った。血液検査をした後、診察室に呼ばれると、いつも冷静な主治医の顔つきが変わっていた。とんでもないことになったのかもしれないと感じた。再生不良性貧血とは、赤血球や白血球、血小板を作る血液の工場である骨髄に異常が起きて、血液を造ることができなくなる病気だ。白血球が減ると感染を起こしやすくなり、赤血球が減ると貧血になる。血小板が減れば血が止まらなくなって出血しやすくなる。その日の検査結果は信じられ

ないような数値が並んでいて、私は愕然とした。瞼の腫れは、血小板が減少したために起こったのだ。まさか、晩期生着不全（移植で一度は回復した骨髄機能が、再び低下すること、分かりやすくいうと、再発）、一瞬心をよぎって、ガタガタ震えが止まらなくなった。そんなはずはないと思いたかった。数日後、検査のために入院し、予感的中する。検査結果を突き付けられると、もう疑う余地なんて、どこにもなかった。事実は事実として、受けとめなければならない。私に残された、生き延びる方法はたったひとつ、もう1度、さい帯血移植を受けること。3年前のつらかった記憶がよみがえった。移植の前の抗がん剤で起こるひどい吐き気や下痢、高熱との闘い、ベッドから起き上がれないような1日、またあの地獄のような日々が待っているのかと思うとぞっとした。それでも、賭けてみるしか生きる道はない。すでに一刻の猶予もなかった。移植日は入院してからわずか2週間後の7月2日に決まった。前だけを見るしかない。死にたくはなかった。

■感謝

新しい生命を頂いた、3度目の誕生日から1カ月後、再び家に帰った。私は助かった。そして現在、あの日から10カ月が経ち、信じられないくらい元気に、毎日を送っている。3人のお母さんが私の生命を繋いでくれたのだ。まだこの先、自分がどうなるのかは分からないが、ただ言えるのは、頂いた生命を大切に、一日一日を精一杯生きているということだ。これから、このページの連載で、少しずつ、闘病のことや現在の様子を伝えていきたいと思う。救ってくれた多くの方々への感謝の気持ちを込めて。

そしてどこかで、私に生命をくださったお母さんの目に留まることを信じて。(つづく)



2回目の移植当日、病室で母(右)と

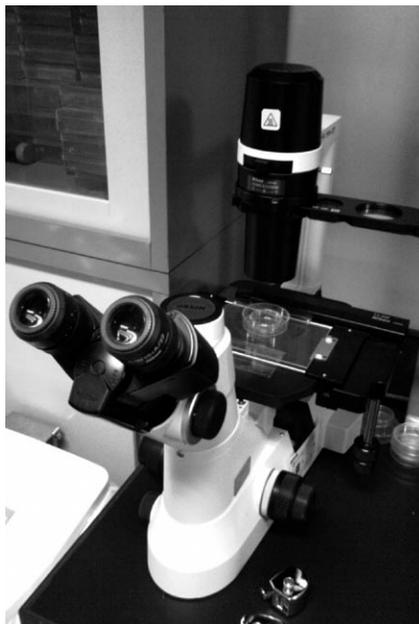
さい帯血バンク
道具箱

⑭ コロニーアッセイ培地と顕微鏡

コロニー (細胞群落) は花ざかり

造血能力測定

移植されたさい帯血が患者さんの骨髄に生着し、その中に含まれる造血幹細胞が血液を造り続けることによって、患者さんは健康な身体を取り戻すことができるようになる、と考えられています。しかしながら、さい帯血移植を受けた患者さんのその後数十年間、正常に血液を造り続けられるかどうかの証明は、実はまだできていないのです。1988年にフランスのグルックマン先生によって世界で最初にさい帯血移植を行なった患者さんは、現在も存命中と聞いていますが、この方がさい帯血移植治療分野の最長ランナーということになります。長期間にわたる造血幹細胞の造血能力を事前に調べることは、現段階では不可能と言わざるを得ませんが、私たちはそのひとつの目安として、患者さんにさい帯血を提供するにあたって、短期的ではありますが、試



験管(実際にはプラスチック製培養皿)レベルでの造血能力を検査・評価することになっています。この試験管レベルでの造血能検査は「コロニーアッセイ」と呼ばれ、さい帯血を調製保存する際に実施されます。さらにさい帯血の申し込みがあった場合には、移植用に提供されるさい帯血とは別に凍結保存されている検査用のさい帯血(小サンプル)を解凍して、改めて「コロニーアッセイ」検査が行なわれます。

細胞七変化

栄養分(造血因子)を含む寒天様の培地の中にさい帯血細胞を播き、至適な環境(炭酸ガス培養器;さい帯血バンクNow 第38号「道具箱」参照)の中で2週間大切に生育させると、1個の造血幹細胞が白血球や赤血球やその混合集団(コロニー)へと姿を変えます。栄養分(造血因子)を含む寒天様の培地はメソカルトという名前です。さい帯血バンクごとの検査結果の誤差が、できるだけ小さくなるように、どのさい帯血バンクも「コロニーアッセイ」検査ではこのメソカルトを使用しています。細胞にとって生育しやすい栄養分や生育環境は、カビや雑菌にとっても好適な条件なので、無菌的に細胞をメソカルトの中にまく操作を行う必要があります。従ってこの操作は安全キャビネットまたはクリーンベンチ(さい帯血バンクNow 第40号「道具箱」参照)を用いて行なわれます。そして炭酸ガス培養器のなかで2週間かけて生育させると、コロニーと呼ばれる血球集団へと成長を遂げます。



ベリタス社製 MethoCult

体の中の小さな宇宙

血球集団といっても非常に小さいものなので、どのような血球が集団を形成しているのかは、倒立顕微鏡と呼ばれる顕微鏡を使って観察・判定します。赤くてモコモコとしたものが赤血球コロニーです。白い粒状のものが白血球コロニーです。赤血球と白血球の両方を含むコロニー集団も見られます。もしかしたら、宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」に滞在していた土井隆雄さんの目に映る地球の灯りが、顕微鏡を通して観察されるコロニーに似ているかもしれません。

■善意のお気持ちに感謝します■

兵庫県 畑直行様	500,000円
フェリシモ基金事務局	324,270円
毎日新聞東京社会事業団	300,000円
茨城県 小池昌義様	300,000円
岩手県 遠藤律枝様	3,500円

(寄付受け付け専用口座)

郵便振替口座番号: 00180-9-57390

口座名義: 日本さい帯血バンクネット

ワーク